

2021年3月30日

報道関係者各位

SBI いきいき少額短期保険株式会社
[関東財務局長（少額短期保険）第8号]**SBI いきいき少短 “終活” に関する調査を実施（第3回）**

～2人に1人が“終活”を実行！必要性を感じている人は全体の約7割～

SBI いきいき少額短期保険株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：新村 光由、以下「当社」）は、当社の保険加入者約11万5千名を対象に“終活”に関するアンケート調査を実施し、3,216名の方から回答を得ました。概要は以下の通りです。

【調査結果のサマリー】

- **“終活”の認知度はほぼ10割。必要性を感じる人は全体の約7割。**（別紙P.1）
“終活”という言葉を知っている、聞いたことがあると回答した人は全体の98.5%となり、“終活”の必要性を感じている人は72.1%となりました。
男女別に見ると、女性（76.0%）は男性（65.7%）よりも“終活”の必要性を感じている結果となりました。
- **家族と“終活”について話したことがある人は約4割。話していない人の多くも話したいと思っている。**（別紙P.2）
“終活”について家族で話したことがあるか聞いたところ、「ある」の回答は38.9%となりました。
最も多い回答は「まだないが、話したいと思っている（42.2%）」で、「話したいが、家族が話題にしたがらない（7.6%）」を合わせると49.8%となり、家族と話していない人の多くも話すことに前向きな様子が見られました。
- **2人に1人が“終活”を実行。心配なこと第1位は「物の整理、片付け」**（別紙P.2～3）
“終活”を実行しているかを聞いたところ、「実行している」が53.7%と半数を超える結果になりました。
すでに行っている“終活”で最も多いことは「お金の準備（保険等）（60.4%）」で、“終活”で心配なこと、気になっていることで最も多いのは「物の整理、片付け（23.3%）」となりました。
- **今、お金をかけていること、楽しんでいることは男女で違い。男性は「医療」、女性は「人との交流」**（別紙P.4～5）
今、お金をかけていること、楽しんでいることについて聞いたところ、「医療（検診、予防）（36.9%）」が最も多く、次いで「人との交流（友人、親戚付き合い）（36.5%）」となりました。
男女それぞれの第1位は、男性では「医療（37.5%）」、女性では「人との交流（42.0%）」となり、結果に違いが出ました。
- **新型コロナウイルスが終息したらやりたいこと、第1位は「旅行」**（別紙P.6）
新型コロナウイルスが終息したらやりたいことを聞いたところ、最も多い回答は「旅行（64.4%）」となりました。「その他」では、「グラウンドゴルフ」などの運動や「離れて生活をする家族との再会」といった回答が寄せられました。

【調査概要】

調査タイトル	“終活”に関する調査
調査期間	2020年12月16日(水)～2020年12月25日(金)
調査対象	当社保険契約者 全国男女 115,273名
調査方法	当社会報誌「いきいき世代通信」同封アンケートに自筆記入のうえ、当社へ返送
有効回答数	3,216名

※本調査結果の百分率表示は小数点第2位で四捨五入を行っているため、合計しても100%にならない場合があります。

【会社概要】

- 会社名 : SBI いきいき少額短期保険株式会社
- 会社紹介 : 当社は、東証一部上場「SBIホールディングス(株)」のグループ会社です。
「シンプルでわかりやすく」「保険料は手ごろに」という、お客様の声に応える保険商品を開発・提供しています。死亡保険、医療保険はシニア層を中心に、ペット保険は犬・猫の高齢化や病気・ケガが気になる飼い主様に、幅広く支持されています。万が一の地震に備える地震補償保険で皆様の暮らしもサポートします。
- 所在地 : 東京都港区六本木1-6-1
- 設立年月日 : 2007年7月3日
- 資本金 : 36,000千円
- 事業内容 : 少額短期保険業
(販売商品：SBI いきいき少短の死亡保険、SBI いきいき少短の医療保険、
SBI いきいき少短の持病がある人の死亡保険、
SBI いきいき少短の持病がある人の医療保険、
SBI いきいき少短のペット保険、SBI いきいき少短の地震の保険)
- URL : <https://www.i-sedai.com>

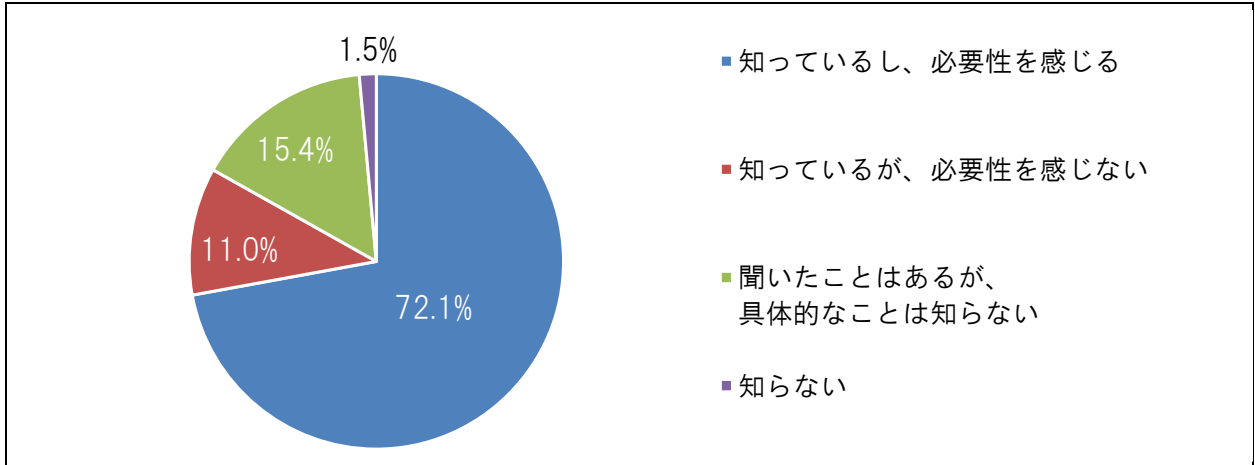
【お問い合わせ先】

SBI いきいき少額短期保険株式会社 コミュニケーションデザイン部
TEL : 03 (6856) 4537 / E-MAIL : ikiiki_pr@i-sedai.com

(別紙)

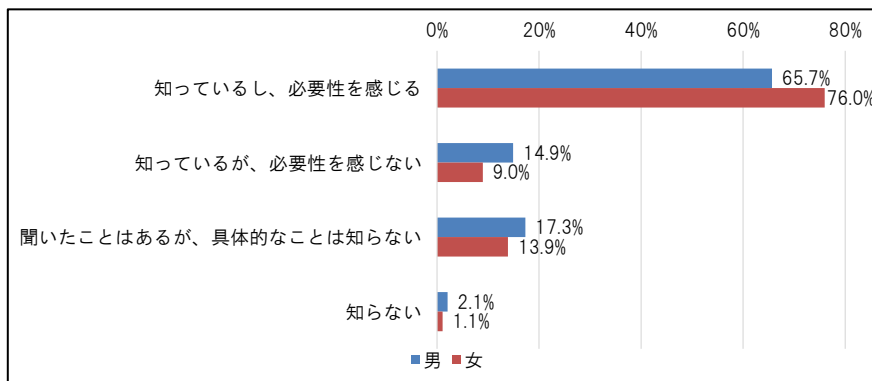
■ “終活”に関する調査結果の詳細

【1】あなたは“終活”を知っていますか？また、必要性を感じますか？(n=3,146、無回答除く)



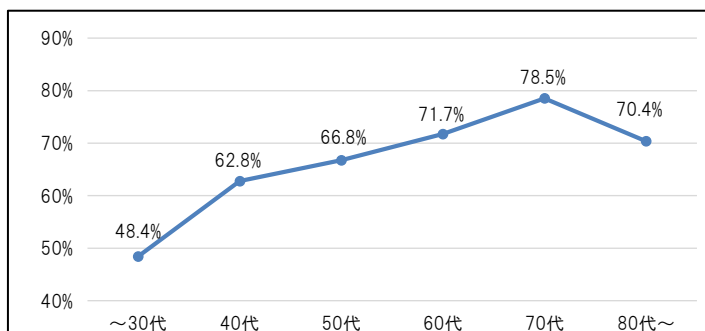
“終活”という言葉を知っている、聞いたことがあると回答した人は全体の98.5%となった。“終活”の必要性を感じている人は72.1%との結果になった。

●男女別



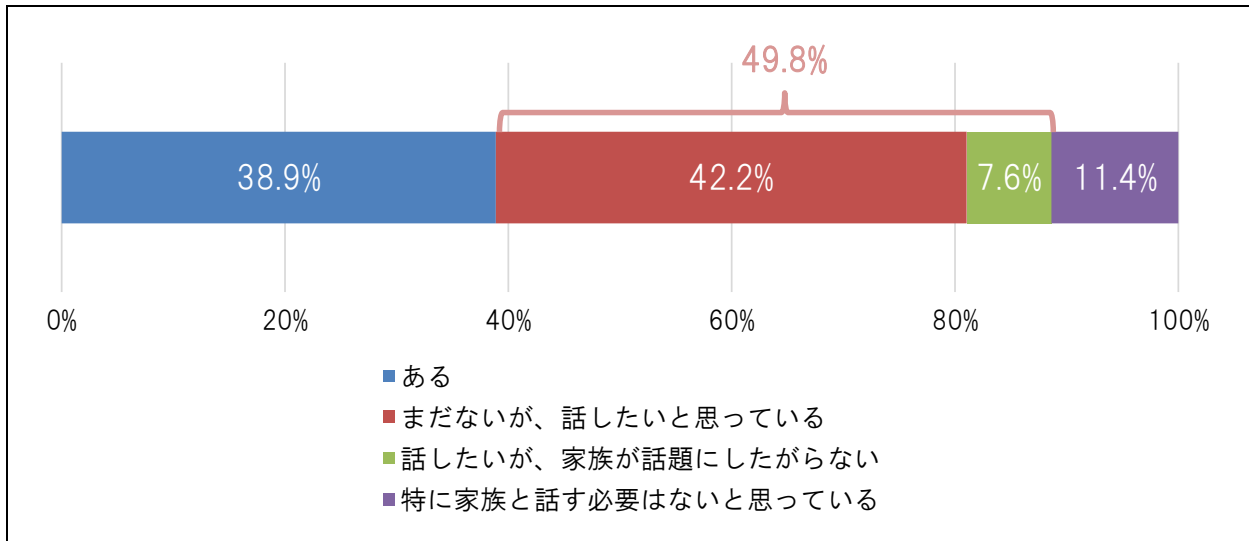
“終活”の必要性は、女性(76.0%)が男性(65.7%)よりも感じている結果となった。

●年代別「知っているし、必要性を感じる」の回答比率



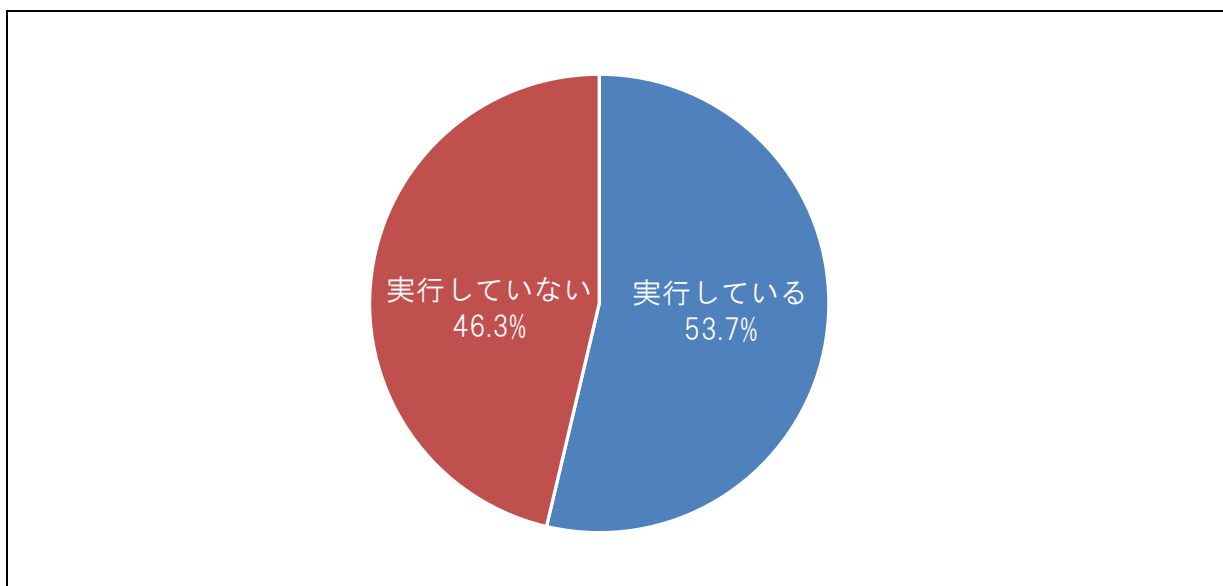
70代(78.5%)が“終活”の必要性を最も感じている結果となった。

【2】 “終活” について、ご家族で話したことはありますか？ (n=3,102、無回答除く)



“終活” について家族で話したことがあるか聞いたところ、「ある」の回答は 38.9% となった。最も多い回答は「まだないが、話したいと思っている (42.2%)」で、「話したいが、家族が話題にしたがらない (7.6%)」を合わせると 49.8% となり、家族と話していない人の多くも話すことに前向きな様子が見えてきた。

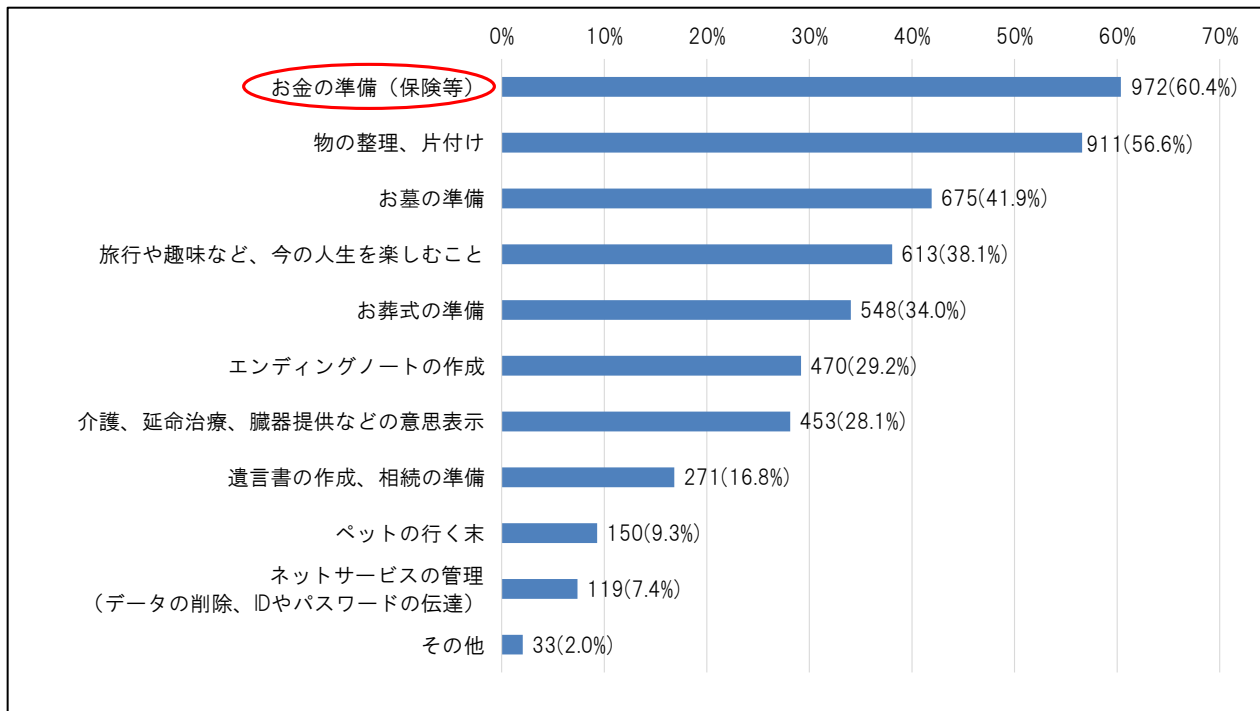
【3】 あなたは “終活” を実行していますか？ (n=3,034、無回答除く)



“終活” を実行しているかを聞いたところ、「実行している」が 53.7% と半数を超える結果となった。

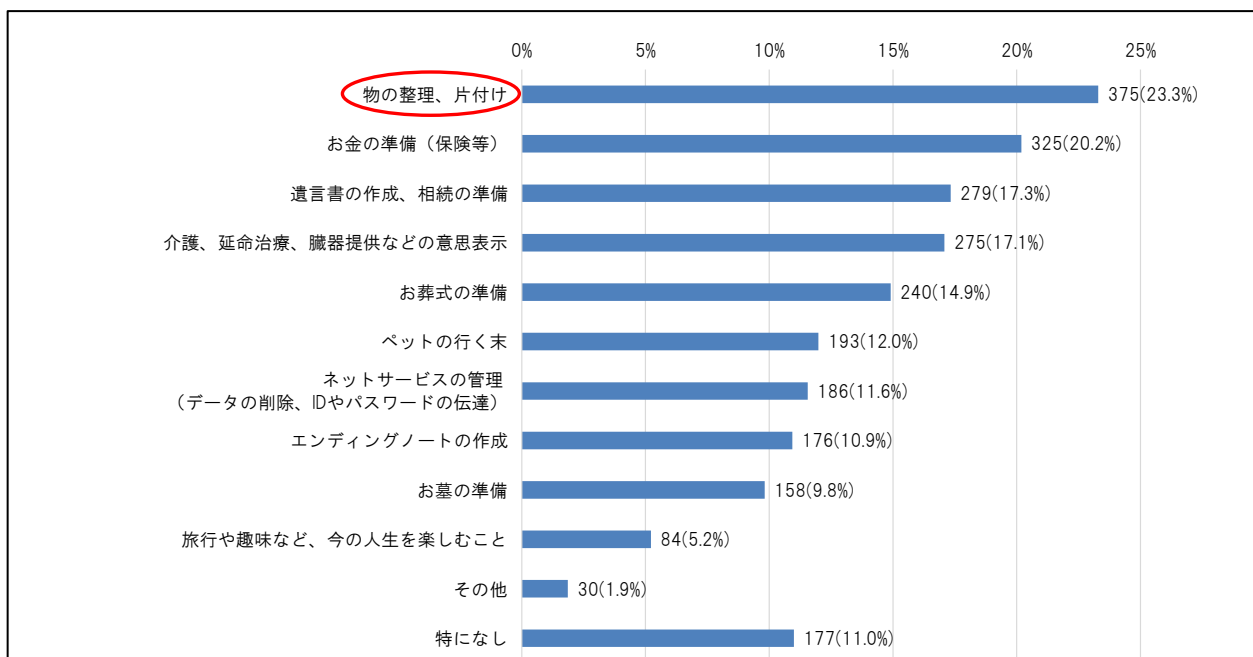
【4】【3】で「終活を行っている」と回答した方にうかがいます。

●すでにやっている「終活」は何ですか？【複数回答可】（n=1,610、無回答除く）



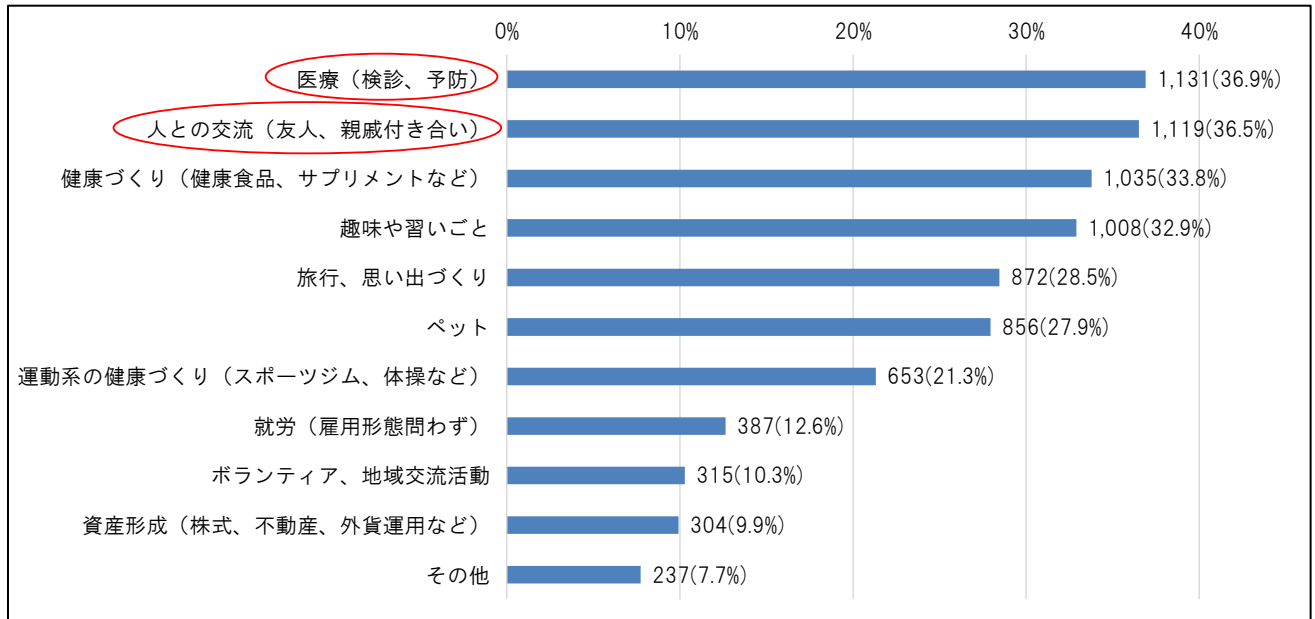
すでにやっている“終活”で最も多いことは「お金の準備（保険等）（60.4%）」となった。

●“終活”で心配なこと、気になっていることは何ですか？【複数回答可】（n=1,610、無回答除く）



“終活”で心配なこと、気になっていることで最も多いのは「物の整理、片付け（23.3%）」となった。

【5】今、お金をかけていること／楽しんでいることは何ですか？ [複数回答可]
(n=3,064、無回答除く)



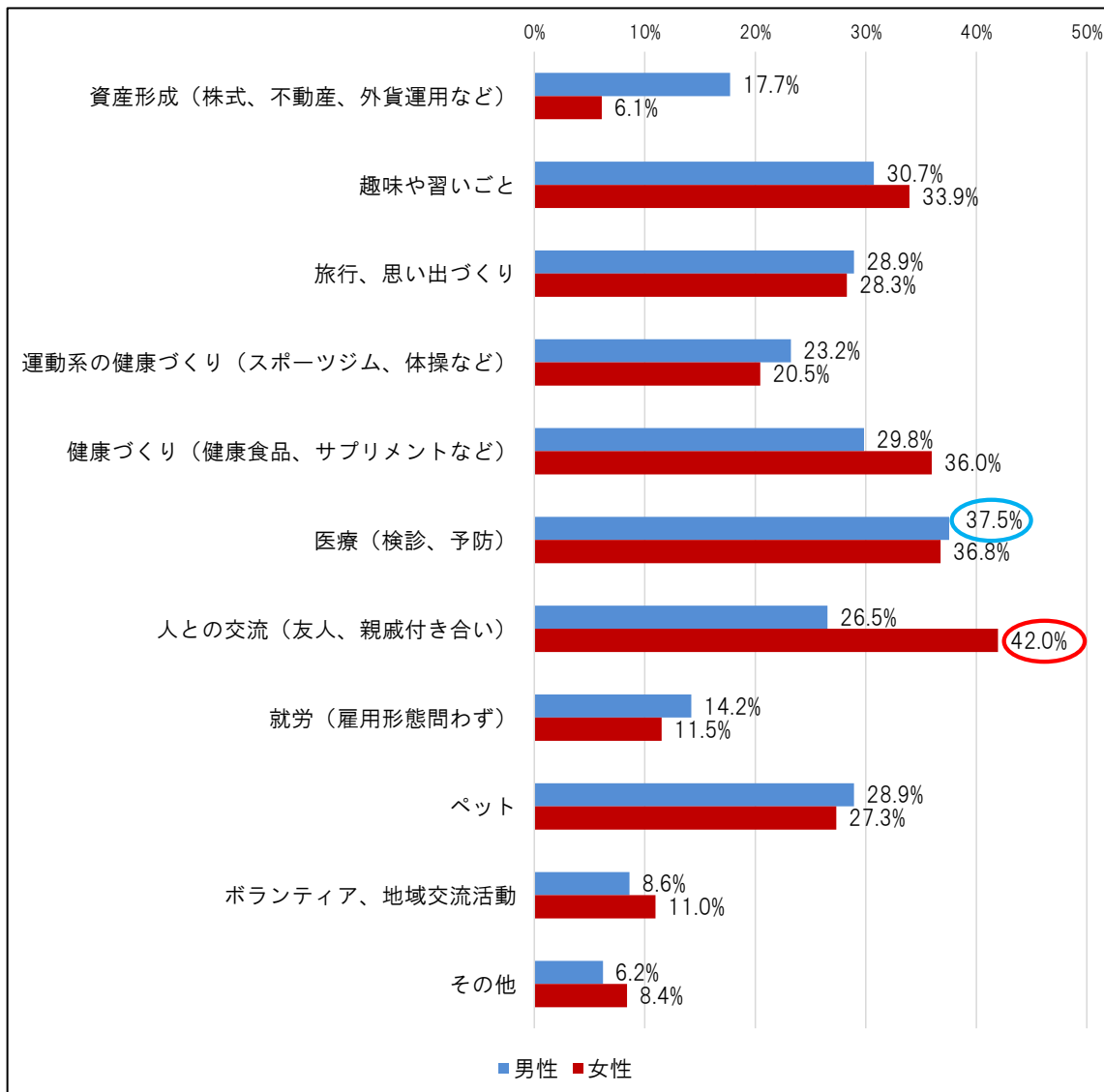
今、お金をかけていること、楽しんでいることについて聞いたところ、最も多い回答は「医療（検診、予防）（36.9%）」、次いで「人との交流（友人、親戚付き合い）（36.5%）」、「健康づくり（健康食品、サプリメントなど）（33.8%）」となった。

●男女別

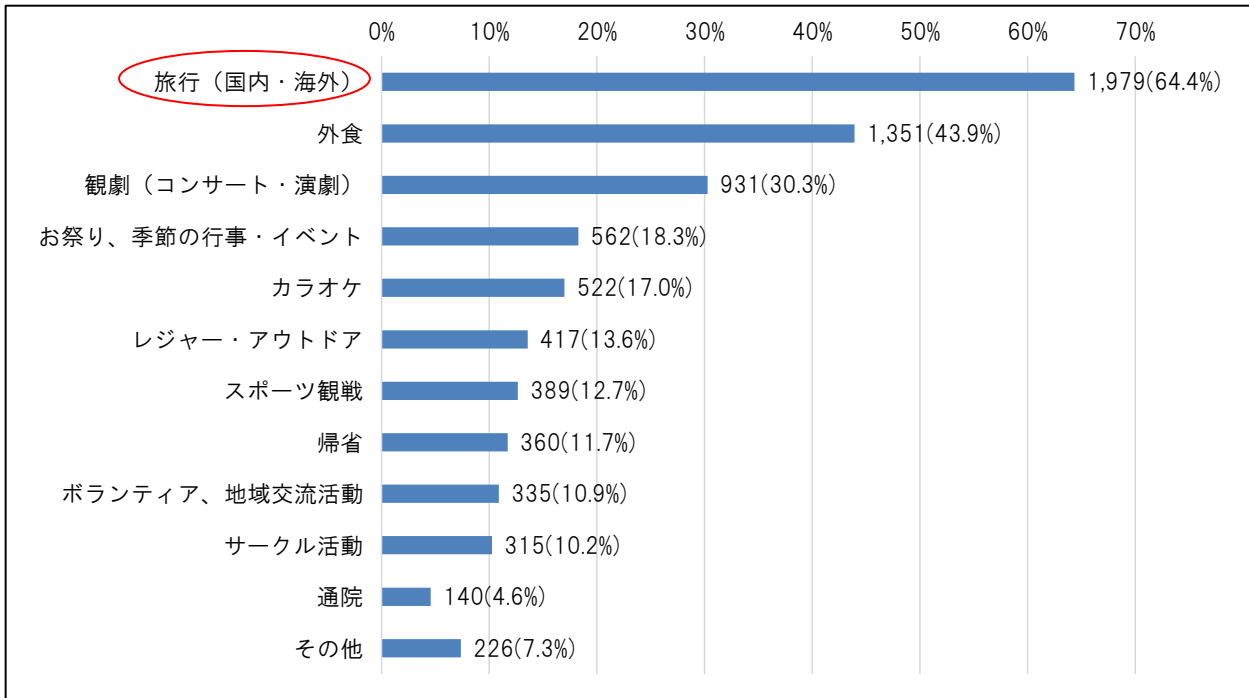
男女別に回答の上位5項目を比較すると、第1位は男性が「医療（検診、予防）（37.5%）」、女性が「人との交流（友人、親戚付き合い）（42.0%）」となった。「人との交流」は男性の上位5項目に入っていないが、そのかわりに「ペット（28.9%）」が4位に入っている。

△：増加、▲：減少

	男性(n=999)			女性(n=1,980)		
	項目	nにおける占有率	第2回との差(前回順位)	項目	nにおける占有率	第2回との差(前回順位)
1位	医療(検診、予防)	37.5%	▲5.7%(1位)	人との交流(友人、親戚付き合い)	42.0%	▲8.9%(1位)
2位	趣味や習いごと	30.7%	▲1.1%(5位)	医療(検診、予防)	36.8%	▲4.2%(2位)
3位	健康づくり(健康食品、サプリメントなど)	29.8%	▲1.1%(4位)	健康づくり(健康食品、サプリメントなど)	36.0%	▲2.7%(4位)
4位	旅行、思い出づくり	28.9%	▲2.5%(3位)	趣味や習いごと	33.9%	▲5.1%(3位)
	ペット	28.9%	△11.1%(8位)	-	-	-
5位	-	-	-	旅行、思い出づくり	28.3%	▲6.1%(5位)



【6】新型コロナウイルスが終息したら、やりたいことは何ですか？〔複数回答可〕
(n=3,075、無回答除く)

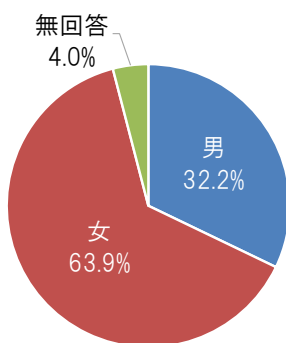


新型コロナウイルスが終息したらやりたいことを聞いたところ、最も多い回答は「旅行（国内・海外）（64.4%）」で、次いで「外食（43.9%）」となった。

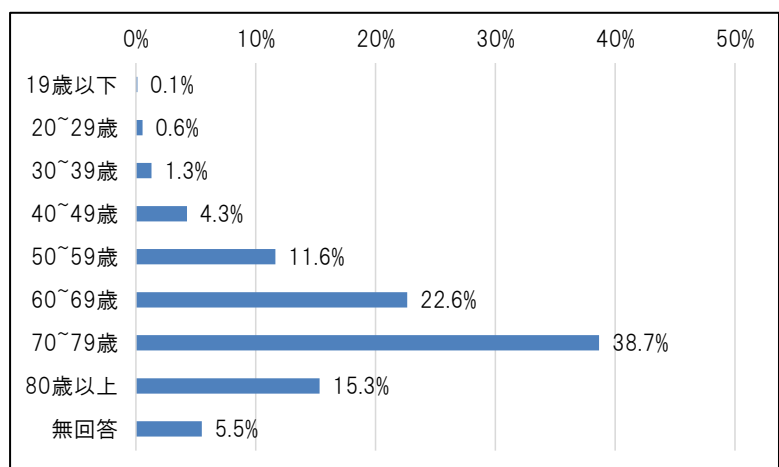
「その他」では、「グラウンドゴルフ」「ジョギング」「プール」といった運動や「離れて生活をする家族との再会」といった回答が寄せられた。

■アンケート回答者属性

【1】男女別の割合（n=3,216）



【2】年齢別の割合（n=3,216）



※本調査結果の百分率表示は小数点第2位で四捨五入を行っているため、合計しても100%にならない場合があります。